

シリーズ：子どもの権利 「子どもにやさしいまち」をめざして NO.3

子どもの参加と意見表明を考える～泉南市子ども安全大会から～

2月16日に「泉南市子ども安全大会」が開催され、せんなん子ども会議の設置に向けて集まったチームNSC (Next Sennan Children) の8名の子どもたちが、これまでの活動を報告しました。参加者の感想を一部紹介します。▽子どもたちの口から直接、意見を聞くことは、なかなかないので、わかっていた事でも心に届きました。

▽当事者である子どものことばが、すごく説得力がありました。子どもの話をきくことを日常の中で、もっともっと意識していかなければならないと思いました。

▽われわれが生きた時代と少し差があると受け取れました。▽おとなは子どもに本当の自由とは何かという事をきちんとと学ばせる責任があると思います。

今後は子どもとおとなが聴きあい、意見交換を行う機会も設けていきたいと思います。

チームの報告後、関西学院大学の^{はまだしんじ}浜田進士さんから「子ども参加のまちづくり」について講演いただき、子どもの意見表明、子どもの参加の必要性を、次のようにまとめて

いただきました。

1. 子どもには「チカラ」があるから
2. 子どもは参加することで成長し、内側にもっている力を実現することができるから
3. 聴いてもらえることは、子どもの一番大切な権利（あたりまえ）だから
4. 子ども自身の課題のより良い解決につながるから
5. 子どもは子どもの専門家だから
6. 子どもと子どもの仲間の力が大きな力を生み出すから
7. 子どもは泉南のまちを変えていけるから
8. 子どもはともにまちをつくっていくパートナーだから
子どもの内なる力を信じ、子どもと対話をしながら、家庭、学校園所、地域において子ども参加を実現することの大切さを確認しました。



【問合せ】 泉南市子どもの権利に関する条例事務局
(人権教育課 ☎ 483-3672)